

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕
令和 4 年度業務計画及び収支予算
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目 17 番地 3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 3 階・地下 1 階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m ² 延床面積 7,899 m ² ／専有面積 1,975 m ²
開館日	平成 17 年 10 月 29 日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針 ※原則：第 4 期指定管理期間（2020 年－2024 年）＜変更なし＞

【総合的な方針】

横浜市とのパートナーシップのもと横浜の文化政策を推進していきます。

多様化が進む横浜市北部地域に住む人々の共生社会実現に向け、誰もが社会に参画できる場、担い手として活躍できる場づくり、世代間交流や異文化交流を促し、市民がこの地で暮らす喜びと、活力のある地域作りを目指します。

東京都心等からの交通の利便性が高い好条件を活かし、市の施策でも求められている横浜のプレゼンス向上につながる発信力の高い事業、都心臨海部と連携した賑わいづくりを行います。

コロナウイルス感染症の終息が見えない中、感染症対策に徹底して取り組みます。

1 誰もが文化に触れる機会を提供

- ・当館では、今まで子どもを対象とした事業を多数展開してきており、参加者は増加傾向です。近年は外国人の親子の参加も見られ、より多様な方々への情報発信が求められています。外国

語対応等、発信方法や発信先、運営方法を工夫し、誰もが参加できる事業を目指します。

- ・福祉団体と連携した事業や障がいがある方と楽しむ鑑賞会等、社会包摂の視点を重視した事業を実施してきたノウハウを活かし、高齢者等を対象とした事業にも着手します。

2 横浜の都市の魅力向上と賑わいづくりへ貢献

- ・開館以来、保存・調査研究に取り組んできた「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を、今後も市外との連携を視野に積極的に活用します。
- ・市外からの来場者も多くあり高い評価を得ている、現代アートや写真をテーマとした企画展では、アーティストや鑑賞者同士の対話を深めるプログラム等を開催し、理解をより深めていただけるような機会を設けます。
- ・横浜トリエンナーレをはじめとする横浜芸術アクション事業（ダンス、音楽）等の関連事業を実施し、横浜全体の魅力づくり、賑わいづくりに貢献します。

3 地域コミュニティの抱える課題へのアプローチ、地域資源の有機的な関係性づくり

- ・男女共同参画センター横浜北との連携により、女性の社会進出やLGBTQに関わるテーマも取り上げた事業を開催する等、地域や社会の課題に気づく機会をさらに創出していきます。
- ・文化芸術の領域を超えた地域資源紹介や北部地域の文化施設、国際交流拠点、大学、企業等との連携を更に拡大します。
- ・当館の活動を支援する市民ボランティアの世代間交流や文化芸術振興の担い手としての活動の場を充実させていきます。

4 市民の皆さんに親しまれる施設 安全で快適な施設に

- ・利用者の高齢化等を見据え、利用サポートの新たなメニューを充実させます。

(2) 令和4年度の業務の方針及び達成目標

【全体業務について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行った上で、第4期指定管理提案に掲げた「6つの使命」に沿った事業展開を図ります。コロナ前とコロナ後では、施設を取り巻く状況や事業実施の手段・方向性が変化していますが、求められる使命に合った運営を柔軟に行います。

「使命1」誰もが普段着をまとうように、文化芸術がより身近なものとなることで、多様な価値観との出会いが生まれ尊重し合う地域社会の醸成につなげます。

子どもや障がい者を対象とした事業を継続して実施します。また、新たな取り組みとして青葉区を中心とした在住外国人ファミリーや、認知症をキーワードにした地域の高齢者の方々へのアプローチを提案し、対象を広げてみんなが文化芸術に気楽に親しめる事業を提案します。

「使命2」 「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を軸に、写真をはじめとする映像分野・現代アートの拠点としての発信力を高め、また市民の文化芸術活動では多様な技法や分野に触れる機会を講座として提供します。

写真をテーマにした企画展や当館ならではの同時代性を有するアートの展覧会を開催します。

また、館内スペースを利用した2つのミニ展示の開催、アニメーション・ワークショップの実施、小学校でのカメラワークショップ、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションのデータベース構築に継続して取り組みます。また市民のためのプログラムでは感染症対策に留意しながら様々なジャンルの講座を用意します。

「使命3」文化芸術の力を活かし、市民が自ら課題に気づき考えを深める契機を創出します。地域の課題に、ともに向き合う人の輪を広げます。

アートフォーラムあざみ野を共同運営する男女共同参画センター横浜北を始め、地域で様々な課題に直接向き合って活動する団体との関わりを積極的に見出し、ネットワークを構築します。フェローアート・ギャラリーやフェローマルシェのほか、男女共同参画センター横浜北との連携事業「あざみ野サロン」に取り組み、新型コロナウイルス感染症で分断を生じた地域のつながり、人の集いで生まれる関係性を、文化芸術を介して再生します。

「使命4」文化芸術を媒介に北部地域の様々な公共施設、教育機関、市民団体、企業、自治会等が相互につながり合う取り組みを進め、協働から地域の活力を生み出します。

使命3とも連動しますが、アートフォーラム近隣の各施設、学校、商店、企業などからと意見交換し、さらなる協働を進めます。青葉区・緑区にある文化施設との連携を強め、より良い施設運営の指針にするためにピアレビューに取り組みます。また地域資源に着目したあざみ野カレッジを継続的に開講します。令和3年度からスタートした「よこはま縁むすび講中」事業に構成員として継続参加します。

「使命5」「次も使いたい」「また来たい」施設になるよう、ホスピタリティあふれるコミュニケーションを心がけ、アンケートやヒアリングなどより広くご意見を集め運営に活かします。

アンケートによる利用者ニーズの把握、専門性の高い貸館のサポートを行い、利用者の満足度を高めることにより、リピーターを増やし、貸館利用率の維持に努めます。また利用者の安全を配慮した展示計画を一緒に模索します。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、どのような状況でも利用者が安心できるような施設運営を行います。

「使命6」適切な施設の維持管理を行い、安心・安全で快適な場を提供します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含め、センター横浜北及び設備管理や警備・清掃担当を担当する西田装美との定期的な情報交換を行い、日常の環境維持に努めます。開館17年目を迎え、施設の劣化が目立ってくる時期であり早期発見・早期修繕の目配りを行います。また当施設は青葉区の帰宅困難者一時滞在施設に指定されており、スタッフ全員が防災訓練等で防災意識と対応力を備えるとともに、同じく一時滞在施設に指定された近隣施設と情報交換を行って地域全体での防災対応強化に取り組みます。

横浜市所蔵カメラ・写真コレクションについては、良好な状態で次代に引き継ぐよう、最適な管理を行います。

4 業務の取組と達成指標

(1) 事業計画

ア 使命1：横浜市北部地域の幅広い属性の方へ、社会的包摂の視点を踏まえ、美術を中心として文化に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むとともに、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が文化芸術活動に参加し担い手となる取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者（65歳以上）や認知症の方を対象にした事業 □ 実施 1回
<ul style="list-style-type: none"> ● 在住外国人の方々が来館しやすい仕組みを充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 在住外国人ファミリー支援団体と協働し、事業に参加しやすい仕組みを模索します。 □ 対象家族へのヒアリングの実施 1回 □ 外国人親子対象のフリーゾーンの開催 1回 30名 ■ 「親子のフリーゾーン」の英語による募集・受付
<ul style="list-style-type: none"> ● 幅広い市民の皆様の「やってみたい！」を応援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民のためのプログラムとしてオープンスタジオを開催 □ 着衣クロッキー・ヌードクロッキー 20回 参加人数 250人 ● 市民のためのプログラムとしてワークショップを開催 □ 透明水彩、デッサン、陶芸、写真、絵画技法 5コース 22回 参加人数 290人
<ul style="list-style-type: none"> ● アートで子どもの情操や共感能力を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企画展「あざみ野こどもぎやらりい 2022」開催 「ぞうけいファクトリー」と題し、さまざまなアートワークによる子ども対象のワークショップを開催 □ 開催時期：7月末～8月初（夏休み期間）10日間 □ 来場者 1,000名 ○ 小学校写真カメラワークショップ 小学校に出かけてカメラと写真のワークショップを

<p>●障がいのある方を対象とした事業</p> <p>●施設を訪れたすべての方々にアートの息吹を</p>	<p>実施し成果展を開催 ※よこはま縁むすび講中共催</p> <p>□ワークショップ 年1回</p> <p>□展示「写真と俳句」 1回</p> <p>□展示来場者 300名</p> <p>●予約制だよ！あざみ野 親子のフリーズーン 「絵の具」「紙」「ねんど」3つの素材を使って幼児・児童とその保護者のための創作の場を提供</p> <p>□月3回／年36回開催 1回40人</p> <p>□年間 1,440名</p> <p>●子どもまたは家族のための造形プログラムの開催</p> <p>■年中・年長・低学年・高学年を対象とした子ども向け造形プログラムの開催</p> <p>■あざみ野ファミリーワークショップとして季節に合わせたテーマを設けて家族で参加する造形プログラムの開催</p> <p>□年13講座 年間224名</p> <p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム コーディネーターとしてアーティストを選定し小・中学校に派遣</p> <p>□4校 250名</p> <p>●親子で造形ピクニック 個別支援学級、特別支援学校等に通う子どもとその家族を対象に「絵の具」「紙」「ねんど」の素材で遊ぶ造形広場。予約制。</p> <p>□月1回／年12回開催 年間300名</p> <p>●学校のためのプログラム 青葉・緑・港北・都筑区内の個別支援学級、市内特別支援学校・養護学校の児童・生徒を対象にしたアトリエでの造形活動。</p> <p>■令和4年度から学校ポストにより希望校を公募</p> <p>□10校 200名</p> <p>●企画展「あざみ野コンテンポラリー」VOL.13 美術という枠や社会的評価にとらわれず、様々なジャンルのアーティストの表現活動に注目し、現在進</p>
--	---

行形のアートを紹介する。令和4年度は「糸」「布」を素材に「縫い」「織り」「刺繍」「染色」を取り上げたグループ展。

10月 1回 1,500名

アーティストトークの実施 1回

ワークショップの実施 1回

■Facebook、Twitter、InstagramなどSNSを活用した広報展開

●企画展「あざみ野フォト・アニュアル2023」

現代の写真表現を紹介する企画展と横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展示の2展示同時開催

年1回 2月 来場者数 各1,500名

アーティストトークの実施 1回

ワークショップの実施 1回

カメラコレクション展ギャラリートーク 1回

■Facebook、Twitter、InstagramなどSNSを活用した広報展開

●Showcase Gallery

新進アーティストの作品をエントランスロビーで展示

■「アーティスト×カメラ・写真コレクション」「黄金町エリアマネジメントセンター連携企画」「シリーズ陶の表現」の3つのテーマに沿って展示

年3回 うち1回は黄金町バザールと同時期開催

展示準備のようすやアーティストインタビュー動画をYouTubeで配信 3本

●フェローアートギャラリー

障がいのあるアーティストの作品を2階ラウンジで展示

年3回

○フェローアート・ギャラリー・エクステンションの開催

障がいのあるアーティストの作品展示を他施設で開催、またはエクステンションの会場の検討と調整

年1回、1か所

※他施設と共催で開催

	<p>○Welcome！ロビーコンサート 日曜日のお昼にロビーで開催する無料のクラシックを中心としたコンサート</p> <p>□年 9 回 年間延べ 600 名 ※男女共同参画センター横浜北と共催 ※うち 2 回を青葉区民文化センターフィリアホールと共催</p> <p>●情報発信の充実</p> <p>■スマホ対応をはじめとしたサイトリニューアルに取り組みます。</p> <p>□アートあざみ野の発行（紙媒体） 年 3 回</p> <p>■主催事業やイベントの告知に SNS を活用します</p> <p>■事業だけでなく施設周辺の出来事なども SNS で紹介します</p>
--	--

イ 使命 2：市内外に向けて、カメラ・写真コレクションを生かした映像分野の拠点となるとともに、現代のアートの発信拠点となる。また、多様な美術分野への様々なアプローチを用意することで、美術に対する関心を喚起する機会を創出し、北部地域の文化活動人口の増加に貢献する。

<p>[取組内容]</p> <p>●横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの活用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●企画展「あざみ野フォト・アニュアル 2023」【再掲】 現代の写真表現を紹介する展示と横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの展示の同時開催</p> <p>□年 1 回 2 月 来場者数 1,500 名 □平均満足度 4.6 以上</p> <p>●カメラコレクションに関する講座開催 あざみ野カレッジの 1 講座として実施</p> <p>□2 月 1 回 30 名</p> <p>○小学校写真カメラワークショップ【再掲】 小学校に出かけ子どもたちにカメラと写真のワークショップを行い、成果展を開催 ※よこはま縁むすび講中と共催</p> <p>□ワークショップ年 1 回 □「写真と俳句」展示 1 回</p> <p>○教師のためのプログラム 横浜市内の主に美術科教員対象のアニメーション教</p>
--	---

<p>●現代アートの発信拠点</p>	<p>育の授業のためのワークショップを開催 ※横浜市教育委員会と共催 <input type="checkbox"/>7月 1回 50名</p> <p>○「横浜市立中学校アニメーションフェスティバル」 「教師のためのプログラム」の成果を発表する場であるアニメーションフェスティバルについて、調整・助言 ※横浜市教育委員会と共催 <input type="checkbox"/>1月 1回 60名</p> <p>●カメラ・写真コレクション保存・研究・WEB公開 <input type="checkbox"/>ホームページ内紹介ページ、コレクションデータベース等の閲覧件数 年間1,100件</p> <p>●Gallery in the Lobby 1階エントランスロビーでテーマを設けて横浜市所蔵カメラ写真コレクションを紹介する展示 <input type="checkbox"/>年4回</p> <p>■城西国際大学による iPad 展示解説提供受け</p> <p>●企画展「あざみ野コンテンポラリー」【再掲】 美術という枠や社会的評価にとらわれず、様々なジャンルのアーティストの表現活動に注目し、現在進行形のアートを紹介する。令和4年度は「糸」「布」を素材に「縫い」「織り」「刺繍」「染色」を取り上げたグループ展。 <input type="checkbox"/>10月 1回 1,500名 <input type="checkbox"/>平均満足度4.6以上</p> <p>●Showcase Gallery（小展示）【再掲】 新進アーティストの作品をエントランスロビーで展示 <input type="checkbox"/>年3回</p> <p>■黄金町エリアマネジメントとの連携によりアーティストの推薦、広報協力を受ける ■黄金町バザールと時期を合わせて開催</p> <p>●アーカイブ&アーティストインタビュー活用 「あざみ野コンテンポラリー」「あざみ野フォト・ア</p>
--------------------	---

<p>●市民の皆さんが主体となって文化芸術活動に関わる取組</p>	<p>ニューアル」「Showcase Gallery」出品作家のインタビュー動画を収録し「アーティストインタビュー」としてWEB公開しアーカイブする</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野コンテンポラリー 3本</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野フォト・アニュアル 1本</p> <p><input type="checkbox"/>Showcase Gallery」 3本</p> <p>●市民のためのプログラム【再掲】</p> <p><input type="checkbox"/>着衣クロッキー・ヌードクロッキー（オープンスタジオ） 20回／参加人数250人</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度4.6以上</p> <p>●ワークショップとして講座開催【再掲】</p> <p>透明水彩、デッサン、陶芸、写真、絵画技法</p> <p><input type="checkbox"/>5コース 22回／参加人数290人</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度4.6以上</p>
-----------------------------------	--

ウ 使命3：地域コミュニティが抱える課題に対して文化芸術を通じたアプローチを行うことで、市民の皆さんがこうした課題に気付き、考えを深める契機を創出する。

<p>[取組内容]</p> <p>●文化芸術を媒介として、分野を越えた協働により地域コミュニティの課題に向き合います</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●地域課題に対して、施設が持つ文化芸術の手法によるアプローチの可能性を模索し、他の団体や機関と協働の中から、課題に向き合えるきっかけを作り、気づきの機会を提供する。</p> <p><input type="checkbox"/>協働する団体（行政や教育機関、福祉・医療施設、自治会やシニアクラブ、区民利用施設等） 5団体</p> <p>●「やさしい街あざみ野実行委員会」への参加</p> <p><input type="checkbox"/>「やさしい街あざみ野実行委員会」との協働による高齢者・認知症をテーマにしたイベント・勉強会の実施 1回</p> <p>●財団他施設との協働</p> <p>財団の専門性と資源を活用した多彩な事業を実施します。</p> <p><input type="checkbox"/>横濱ジャズプロムナードとの共催コンサート 2回</p> <p><input type="checkbox"/>大佛次郎記念館との共催講座 1回</p> <p>●青葉区内他施設との協働</p> <p><input type="checkbox"/>青葉区民文化センターフィリアホールとの共催</p>
--	---

<p>●市民が自ら課題に気づき考えを深める契機を創出します</p>	<p>ロビーコンサート 2回 あざみ野サロン（コンサート付トーク） 1回</p> <p>●認知症の方とその家族のための鑑賞会 ■認知症の方とその家族のための新しい試みとして、鑑賞会を行い、芸術に触れることでより豊かな日常を楽しむ機会を提供します □企画展の鑑賞会開催 1回 □参加者ヒアリングの実施 1回</p> <p>●「予約制だよ！あざみ野 親子のフリーゾーン」「親子で造形ピクニック」参加者への文化芸術参加環境等に関するアンケート実施 □毎回</p> <p>●ワークショップ・講座参加者への文化芸術参加環境等に関するアンケート実施 □毎回</p> <p>●「あざみ野カレッジ」参加者への「生涯学習」等に関するアンケート実施 □7回</p> <p>●「あざみ野カレッジ」のオンライン配信 新型コロナウイルス感染症対策および広く事業を周知するため、地域資源講座のうち1講座をオンラインとリアルハイブリット開催を検討します。 □オンライン配信のある講座 1回</p> <p>●アートサポーター活動の再開に向けて準備 □ワークショップでの協働 年1回</p> <p>●フェローアートギャラリー【再掲】 障がいのあるアーティストの作品を紹介 □年3回 □メッセージカードによる来場者の声を作家にフィードバック 毎回</p> <p>●フェローアートギャラリー・エクステンション【再掲】</p>
-----------------------------------	---

<p>●センター横浜北との連携をさらに充実させます</p>	<p>障がいのあるアーティストの作品を他施設で紹介を検討</p> <p><input type="checkbox"/> 1 か所</p> <p>●あざみ野フェローマルシェ エントランスロビーで障がいのある人たちの作った食品・雑貨などを販売する場を提供し、活動の周知や来場者・団体同士の交流促進をはかる。</p> <p><input type="checkbox"/> 年 5 回 来場者 3,000 名</p> <p>○あざみ野サロン開催</p> <p>■ジェンダーをテーマにした講演会等を男女共同参画センター横浜北との共催で行います。</p> <p>■うち 1 回を青葉区民文化センターフィリアホールとの 3 館共催で「歴史をつくった女性音楽家たち」としてトークとミニコンサートを開催。</p> <p><input type="checkbox"/> 年 3 回 350 名 ※センター横浜北と共催</p> <p>○アートフォーラム 17th アニバーサリー 10 月のアートフォーラムあざみ野開館記念月に合わせて、地域の方々が集う場を創出します。</p> <p><input type="checkbox"/> 10 月 22、23 日 1 回 ※センター横浜北と共催</p> <p>○Welcome! ロビーコンサート【再掲】 日曜日のお昼にロビーで開催する無料のクラシックを中心としたコンサート</p> <p><input type="checkbox"/> 年 9 回 年間延べ 600 名 ※男女共同参画センター横浜北と共催 ※うち 2 回をフィリアホールと共催</p>
-------------------------------	--

エ 使命 4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、かつ、地域の様々な資源を有機的に結び付け、地域コミュニティのベースとなる文化的コミュニティの形成に貢献する。

<p>[取組内容]</p> <p>●地域の資源を発掘し、市民とつながります</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●あざみ野カレッジ「地域資源部門」 北部 4 区にまつわる生活・文化に関する地域資源をテーマにした講座を開催します。</p>
---	---

<p>●地域の様々な担い手とつながる機会を作ります</p> <p>●北部地域の文化施設全体が、文化的コモンズの形成に貢献できるよう協働します</p>	<p>(市営地下鉄開業 50 周年、あざみ野カメラ写真コレクションなど)</p> <p><input type="checkbox"/>年 3 回 年間 100 名</p> <p>※一部講座を「よこはま縁むすび講中」として開催</p> <p>●地元大学等と事業連携</p> <p><input type="checkbox"/>学生ボランティア参加による事業 1 回</p> <p>●あざみ野フェローマルシェ【再掲】</p> <p>エントランスロビーで使って障がい者福祉団体による食品・雑貨などの販売の場を提供し、活動の周知や来場者・団体同士の交流促進をはかる</p> <p><input type="checkbox"/>年 5 回 来場者 3,000 名</p> <p>●アートプラザのお弁当やさん</p> <p>地元の野菜やお米で作ったキッチンカーによる弁当販売により地産地消促進と地元起業家支援につなげます。</p> <p><input type="checkbox"/>年 30 回 主に日曜日</p> <p>○アートフォーラム 17th アニバーサリー【再掲】</p> <p>10 月のアートフォーラムあざみ野開館記念月に合わせてイベントを開催し、地域の方々が集う場を創出します。</p> <p><input type="checkbox"/>10 月 22 日、23 日 1 回 2,000 名</p> <p>※センター横浜北と共催</p> <p>○青葉区主催事業への共催</p> <p>■あおば美術公募展への協力 7 月</p> <p>■青葉区民芸術祭への協力 11～12 月</p> <p>※青葉区地域振興課と協力</p> <p>●地元企業との連携・協力による子ども向けワークショップ・教育 PF 事業の開催</p> <p><input type="checkbox"/>1 回</p> <p>○「よこはま縁むすび講中」事業の実施</p> <p>横浜北部 4 区の地域文化資源をつなぐ事業に対して実行委員会メンバーとして参加、実施します。</p> <p><input type="checkbox"/>小学校カメラワークショップ・都筑太鼓ワークショ</p>
--	---

<p>●新たなつながりと活力を生む、「あざみ野河津桜坂文化圏（仮称）」創出</p>	<p>ップ、外国人家族のアトリエ利用サポート、あざみ野カレッジ1 講座・みどりアートパークとのリレー事業 計5件</p> <p>●事業や活動を通じてあざみ野周辺地域の施設、教育機関、企業等との連携をきめ細やかに展開します</p> <p>■令和3年度制作の「あざみ野散歩」YouTube 動画の公開継続</p> <p>■山内図書館、山内地区センターとの事業連携</p> <p>■山内小学校との連携の継続</p> <p>■「やさしい街あざみ野」実行委員会との協働</p> <p>■慶應横浜初等部ほか地元教育機関との連携の模索</p> <p>■近隣の支援学校・養護学校生徒の職業体験受入</p> <p>■東急田園都市線沿線文化施設ピアレビュー（相互評価）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉区民文化センター（フィリアホール） ・緑区民文化センター（みどりアートパーク）
---	---

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮し、北部地域の市民の皆さんに親しまれる施設となる。

<p>[取組内容]</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底</p> <p>●利用者ニーズの把握</p> <p>●施設貸出の考え方</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のルール徹底</p> <p>■手指消毒、検温、マスク着用</p> <p>■三密を回避する展示活動についての相談・提案</p> <p>■講座料・参加費の支払にキャッシュレス決済導入</p> <p>●アンケートを実施し、速やかにスタッフ全員に回覧し情報共有します</p> <p>■展示室：利用終了日まで実施</p> <p>■アトリエ：継続的利用団体：年度末 単発利用団体：利用時</p> <p>■イベント来場者：イベント時にアンケート用紙またはWEB フォーム</p> <p>●意見聴取（ヒアリング）</p> <p>■展示室利用者：利用打合せの際に実施</p> <p>■アトリエ利用者：年4回の利用申込み抽選日に実施</p> <p>■公平・公正な施設貸出を実施</p>
--	--

<p>●施設貸出の流れと取り組み</p> <p>●利用者へのコミュニケーションとサポート</p> <p>●文化施設としての専門性を発揮するための人材配置とその育成</p>	<p>■専門性の高いサポート・ホスピタリティを提供</p> <p>■新規貸館利用者の創出に向けインターネットを活用</p> <p>■展示室：1週間単位（火曜日～月曜日、平成28年10月に改定、最長2週間まで）で利用を受付</p> <p>■時期が迫った空室については、1日単位で受付</p> <p>■利用可能日を即時ホームページ上で公開するほか、SNS等で広く情報発信する</p> <p>■専門性に基づいた展示構成アドバイス</p> <p>■コンシェルジュとして相談を受ける</p> <p>■利用団体に対しての広報協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「展示室・アトリエスケジュール（ホームページ）」 ・「ヨコハマ・アートナビ」、「画廊散歩」、「マグカル」等への情報提供 ・利用期間中の展示の様子を、ホームページやSNSで発信 ・情報誌『アートあざみ野』への掲載（年3回） ・館内ラックに施設貸出ちらしの配架 <p>■物品の預かり</p> <p>定期的にアトリエを利用する団体への備品保管ボックス貸出の継続</p> <p>■財団の人材マネジメント・ポリシーを遵守</p> <p>■事業担当と施設運営担当について適正とバランスを考えて配置</p> <p>■OJT及び各種研修による事業担当職員及び施設運営担当職員の育成</p>
---	--

カ 使命6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。予防的修繕にも着実に取り組む。

<p>[取組内容]</p> <p>●施設管理・環境維持・警備等一共有部分について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底</p> <p>□センター横浜北・設備管理会社との3者での管理合同ミーティング開催 月3回以上</p> <p>■法令を遵守し必要な保守点検や測定の実施</p> <p>■職員による日常的な目配りにより不具合の早期発見</p>
--	--

<p>●施設管理－専有施設について</p>	<p>に努める。</p> <p>●展示室の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none">□展示室壁面の塗装チェック、必要箇所の塗り直し／年1回□展示室可動パネルの保守点検／年1回□展示室可動パネルの消耗品交換、稼働状況のチェック、壁面の補修／随時□展示室貸出備品の点検・整備／随時□高所作業車保守点検／年1回 <p>●アトリエの維持管理</p> <ul style="list-style-type: none">□アトリエ壁面のリタッチ／年1回□貸出附帯設備・音響設備の点検、整備／随時□陶芸用電気窯保守点検／年1回□土練機、パネルソー保守点検／利用状況により2年に1回程度□その他（搬入口・荷捌室・作品保管庫等）衛生設備（新ガス消火設備、連結散水設備等）保守点検／業務の基準の通り昇降機設備保守点検／業務の基準の通り
<p>●横浜市所蔵カメラ・写真コレクション（収蔵庫）</p>	<p>●収蔵庫内環境の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none">□通年で温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%を維持□pH 値を定期的に測定し、結果に応じケミカルフィルター一年2回交換□文化財喰害虫生息調査／年8回実施□担当学芸員ほか職員による定期的な清掃／月1回□担当学芸員の立会いのもとに庫内の機器、設備の点検を実施／月1回■収蔵庫担当による目視あるいは監視カメラによる日々の庫内点検実施□収蔵庫・展示室空調設備保守点検／年1回■コレクション作品管理、貸出、熟覧、画像提供
<p>●維持保全・修繕について</p>	<p>●計画的、予防的修繕の検討</p> <ul style="list-style-type: none">■共有部：センター横浜北および設備管理会社と連携■専有部：今後必要となる修繕項目について検討し、1件60万円を超える事案に関してはモニタリング等を通じて設置者に情報共有・相談

<ul style="list-style-type: none"> ●適正な備品の管理 ●棚卸の実施（指定管理期間中に1回） ●事故防止・防火防災・保険・感染症対策等 ●災害時対応ー地域に頼られる公共施設として 	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急を要する修繕 <ul style="list-style-type: none"> 業務の基準に則り速やかに横浜市、関係各所へ連絡・報告を行う。運営に支障がないことを最優先に応急処置を取りつつ最適な修繕を実施 ●令和3年度の包括外部監査の指摘に対応する備品管理の適正化 ●物品管理票（シール）の表記見直し ●物品台帳を補足する写真帳の導入の検討 ■令和4年度に物品棚卸を実施し台帳と現物の突合1回 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ■横浜市によるガイドラインに準じ、徹底した拡大防止策を図る。 ●事故対応 <ul style="list-style-type: none"> ■来館者の怪我・急病や多目的トイレの緊急呼出等、異常発生の際を受け次第、センター横浜北・ギャラリーあざみ野の職員1名ずつが現場へ急行し対応。 □緊急時にスムーズに対応できるようスタッフ研修の実施 1回 ■AEDの設置 ■事故発生時は横浜市・事務局長に速やかに報告し、原因調査を行う ●防火防災 <ul style="list-style-type: none"> センター横浜北、設備管理会社と協働して、アートフォーラム自衛消防隊を組織 □センター横浜北との合同防災訓練/年2回 ■センター横浜北と協議し建物施設賠償保険に加入 作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険等については当財団が保険に加入 □帰宅困難者一時滞在施設対応訓練/年1回 ■近隣の公共施設と日常からネットワークを構築し、地区全体での防災力強化に努める ■「アートあざみ野」などちらしに「帰宅困難者一時受け入れ施設」の文言を明記して周知をはかる ■飲料自動販売機のうち1台に災害用ベンダーを導入
--	---

<p>●業務計画・報告および評価</p>	<p>■事業計画書・事業報告書の作成・提出</p> <p>■日報・月報の作成</p> <p>□モニタリング 月1回</p> <p>■業務評価（自己評価）を実施</p>
----------------------	---

(2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

<p>[目指す成果]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p> <p>●適切かつ効果的な勤務体制を確立</p> <p>●切れ目のない責任体制の維持</p>	<p>[取組内容及び達成指標]</p> <p>●人材の配置について</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>3～5人</td> <td>短時間勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>●勤務体制について</p> <p>基本：早番（8：45-17：30）2名 遅番（12：30-21：15もしくは、11：00-19：45）2名</p> <p>■展示室やアトリエの繁閑に応じたシフトを組み、ワークライフバランスに配慮した勤務と効率的な運営を両立させます。</p> <p>■リモートデスクトップを活用した在宅を含む新しい勤務体制の導入</p> <p>■館長・副館長不在時の代行者を定め、責任体制を明確にします。</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	1人		職員	8人		臨時職員	3～5人	短時間勤務
項目	人数	備考														
館長	1人															
副館長	1人															
職員	8人															
臨時職員	3～5人	短時間勤務														

イ 必要人材の配置及び能力担保

<p>[取組内容]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■指定管理提案に基づき適切に配置します</p> <p>■事業系及びコレクション担当：美術に関する専門教育を修め、学芸員資格を有する職員または鑑賞・造形教育エデュケーター、もしくは両者を志望する職員を配置</p> <p>■コレクション担当は、写真・映像を専門とする学芸員を配置</p>
---	--

ウ 横浜市の重要施策を踏まえた対応

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適正な個人情報保護・情報公開 ●人権尊重 ●環境への配慮 ●市内中小企業への優先発注 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■横浜市の発信する情報や指定管理者研修会への参加等を通して重要施策を理解し、積極的に協力します。 ■財団コンプライアンス委員会の情報を共有し、職員・スタッフのコンプライアンス意識を高めます。 ■新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿った感染症予防対策の徹底を図ります。 ■個人情報は規程及びマニュアルに基づき適切に取り扱います。 ■すべての人に開かれた施設として人権尊重の取組みを大切にします。 □横浜市の人権研修に参加し、施設内で情報を共有します 1回 ■ゴミの分別を行い排出量を抑えます。利用者にはゴミの原則持ち帰りを徹底します。コロナ感染対応につきゴミ袋の有料販売は中止します。 ■電気・ガス使用量については、換気によって空調運転量が増えるため、極力抑制を目指します。 ■物品購入・委託等は、アーティスト指定や市外業者のみが取り扱うものを除き、市内中小業者への発注に努めます。
--	--

(3) 管理について

ア カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●貴重なコレクションを良好な状態で次代に引継ぎ、最大限活用するために、適切な収蔵、保管にあたります。 	<p>[達成指標] ※「使命5」再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ●収蔵庫内環境の維持 □年間通して温度 20℃±2℃、湿度 50%±2% ■pH 値を定期的に測定し、結果に応じたケミカルフィルターを設置 □文化財喰害虫生息調査 年8回 □庫内点検、定期的な清掃を実施 月1回 ●専門機関との連携、協力
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ■日本カメラ博物館・横浜美術館・東京都写真美術館等と情報交換を行い専門分野での助言をもらいます ■全国美術館会議に新たに加盟することで専門研修や情報交換の機会を得ます
--	--

イ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アートフォーラムでは、全職員（横浜市民ギャラリーあざみ野、センター横浜北、管理委託会社）が、日常的に危険箇所や不審者等を早期に発見し、対処します。 ●緊急時には「利用者の安全第一」と「迅速さ」を基本方針として対応します。 ●防災の取組みとして、自館の防災はもちろん近隣の防災拠点としての役割も担います。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■各種マニュアルの随時見直しを行い、必要に応じて更新します。 ■危機管理マニュアルを見直し必要に応じて更新します。 ■常に全職員がマニュアルを理解している状態であるよう定期的に確認し、緊急時には「アートフォーラムあざみ野」全スタッフが一致して対応します。 □センター横浜北との合同防災訓練 年2回 □帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 年1回
--	---

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●展示室・アトリエともに、現在の利用区分（単位）・料金が定着しているため、従来の設定を踏襲します。 ●割引、減免制度については、横浜市民ギャラリー条例・同施行規則に従って運用します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■従来の料金体系に沿った利用料金設定を継続 □横浜市主催事業：50%減免 □横浜市共催もしくは実行委員会に参加する事業：30%減免 □ギャラリーあざみ野共催及び協力事業：主催者との協議により 30～100%減免 ■アトリエ利用の夜間割引・学生割引の継続
--	--

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主事業の一部については、指定管理料を充当せずに行います。 ●利用料金収入を安定的に確保します。 ●助成金・協賛金、現物協賛の獲得を目指します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■指定管理料を充てず収支ゼロで行う自主事業 市民のためのプログラム □展示室・アトリエ利用料金収入目標 7,880 千円（付帯設備利用料を含む） □外部助成金の申請 3 件以上 □助成金・協賛金・広告料等の外部資金 50 万円以上
---	--

(3) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経費削減、効率的運営を行います。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■センター横浜北と協力し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制
---	---

6 PDCA サイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●PDCA サイクルの基本指標となる日報、月報の作成・管理を確実にを行います。 ●事業計画書・事業報告書の作成・管理を行います。 ●業務評価を実施します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □業務日誌（日報）の作成 休館日を除く毎日 □月次報告の作成、横浜市とモニタリング実施 月 1 回 □事業計画書・事業報告書の作成 1 回 □完了報告書の作成 1 回 □自己評価（仮決算含む） 年 1 回
---	--

7 その他

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民の生命と安全を守ることを第一義として、適切な保険に加入し、万々に備えます。 ●関係法令を順守し、公的機関としての役割を果たします。 	<p>[達成指標] ※「使命5」再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設賠償保険に加入【再掲】 ※アートフォーラムあざみ野（建物）としてセンター横浜北が契約し費用については応分負担 ■作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険契約については、個々に契約し対応します。 ■関係法令を順守するとともに、法令改正に注意を払います。
---	---

<p>●よりよい市民サービスの提供を目指し、市及び関係機関との連絡調整を行います。</p>	<p>■事故や不具合時は速やかに横浜市・財団事務局に報告し、共有します。</p>
---	--

(指定管理者が記入する様式)

令和4年度 「横浜市民ギャラリーあざみ野」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	158,000,711		158,000,711		158,000,711	横浜市より (R4年度貸金スライド分を含む)
利用料金収入	7,880,000		7,880,000		7,880,000	展示室・アトリエ利用料金
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	2,896,000		2,896,000		2,896,000	※助成金は採択不確定のため予算化していません。
横浜市による運営支援 (休館期間等)					0	休館期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
横浜市による運営支援 (利用再開後の期間等)				0	0	利用再開後の期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	4,105,000	0	4,105,000	0	4,105,000	
物販等手数料	23,000		23,000		23,000	お弁当屋さん事業出店料等
自動販売機手数料	618,000		618,000		618,000	
駐車場利用料金収入	3,300,000		3,300,000		3,300,000	収入をセンター北と折半
その他 (センター北負担金等)	164,000		164,000		164,000	センター北と共用の事務機器等管理、Wi-Fi等の按分経費
収入合計	172,881,711	0	172,881,711	0	172,881,711	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	75,086,000	0	75,086,000	0	75,086,000	
給与・賃金	63,802,000		63,802,000		63,802,000	職員 (10名)、常勤アルバイト1名、企画展短期アルバイト分
社会保険料	7,166,000		7,166,000		7,166,000	
通勤手当	1,413,000		1,413,000		1,413,000	
健康診断費	97,000		97,000		97,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	2,608,000		2,608,000		2,608,000	
事務費	3,300,711	0	3,300,711	0	3,300,711	
旅費	50,000		50,000		50,000	
消耗品費	431,711		431,711		431,711	
会議随時費	0		0		0	
印刷製本費	60,000		60,000		60,000	
広報宣伝費	0		0		0	
通信費	573,000		573,000		573,000	
使用料及び賃借料	1,448,000	0	1,448,000	0	1,448,000	
横浜市への支払分	127,000		127,000		127,000	行政目的外使用料 (飲料自販機、アートプラザのお弁当屋さん事
その他	1,321,000		1,321,000		1,321,000	PC・プリンター・AED等リース、放送受信料、足ふきマッパ、セリアソフト・ドメイン等使用料等
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	税抜価格15,000円以上の図書購入に使用
施設賠償責任保険	80,000		80,000		80,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	220,000		220,000		220,000	
リース料	0		0		0	300万以上のリース物件に使用
手数料	231,000		231,000		231,000	産業廃棄物処理、インターネット接続、ATM備品のクリーニング等。
地域協力費	0		0		0	
その他 (雑支出等)	7,000		7,000		7,000	
事業費	22,500,000	0	22,500,000	0	22,500,000	
自主事業費	22,500,000		22,500,000		22,500,000	
管理費	58,043,000	0	58,043,000	0	58,043,000	
光熱水費	13,500,000	0	13,500,000	0	13,500,000	
電気料金	8,500,000		8,500,000		8,500,000	
ガス料金	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
水道料金	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
清掃費	0		0		0	建物総合管理契約に含むため「その他保全費」に計上
修繕費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
機械警備費	174,900		174,900		174,900	
設備保全費	42,368,100	0	42,368,100	0	42,368,100	共用部はセンター北が契約し費用は折半
空調衛生設備保守	2,370,050		2,370,050		2,370,050	
消防設備保守	544,500		544,500		544,500	
電気設備保守	958,100		958,100		958,100	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	共用部：建物総合管理契約に含む、専有部：事業費に含む
駐車場設備保全費	462,000		462,000		462,000	
その他保全費	38,033,450		38,033,450		38,033,450	清掃費を含む
共益費	0		0		0	
公租公課	7,025,000	0	7,025,000	0	7,025,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	6,908,000		6,908,000		6,908,000	
印紙税	60,000		60,000		60,000	
その他 (法人税)	57,000		57,000		57,000	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	6,927,000	0	6,927,000	0	6,927,000	
本部分	6,927,000		6,927,000		6,927,000	
当該施設分	0		0		0	
支出合計	172,881,711	0	172,881,711	0	172,881,711	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		